

笑顔と心をつなぐネットワーク はーとふる HEARTFUL

2024年
秋号

特集 提唱55周年記念特集 Part2

全国各地から大集合！ みんなの力で紡ぐ 明るい社会づくり運動

全国清掃キャンペーン
明社人みんなでゴミ拾い2024





出会いに学び、悩み、 深められるからこそ、 子ども食堂は面白い――。



鈴木祥高

特定非営利活動法人明るい社会づくり運動理事

2021年に有志7人で始めた『子ども食堂nuku-nuku』（子ども食堂BASE代表：武久本

子）は、今年で3年目を迎え、趣旨に賛同するボランティアスタッフの登録は41人に達しました。代表の武久さんは、長年地域の居場所づくりに関心を持ち、特に社会的に弱い立場にある女性や子どもたちを支援したいと、仲間と共に母親を対象にしたワークショップを行ってきました。コロナ禍でその活動は休止せざるを得なくなりましたが、「先行きの見えない不安の中でこそ、地域の人々がつながれる場をつくりたい」との思いで、『子ども食堂nuku-nuku』を立ち上げたのです。

「ソーシャル・ディスタンスを守ろう」と言われていた当時、私はどこか閉塞感に包まれ、生活に張りをつけていました。そんな折、武久さんから『子ども食堂nuku-nuku』立ち上げの話聞き、私自身も学んできたことを地域に役立てたいと思い、運営に参加することを決めました。おかげさまで、コロナの制限下でも、食品配布を中心に幅広い年代や世帯に支援を展開し、

3年間で約360世帯、延べ7200人の方々に支援を届けてきました。

現在では、地域の学校のボランティア部員や、企業の皆さまと、また、演奏会を通じて地元の音楽家ともつながりができ、活動の幅が広がっています。そして「より個人に寄り添った支援をしたい」と考え、今年の6月からは、子育て世帯に焦点を当てた形でリニューールを行いました。

手作りうどんの提供、自由に遊べる居場所、学習支援、さらには子育て中のママやパパの居場所づくりも進めています。

振り返ってみると、小さな一歩を踏み出すにも大きな勇氣が必要でした。また、活動が進むにつれて、さまざまな課題や問題に直面し、矛盾や葛藤も生まれました。その度に仲間たちと共に考え、試行錯誤を重ねながら、解決策を模索してきました。まだリニューールして数ヶ月ですが、『子ども食堂nuku-nuku』をとおして地域に少しずつ思いやりの輪が広がっていることを実感しています。

耀メッセージ

- 1……特集 提唱55周年記念特集 Part2
全国各地から大集合！みんなの力で紡ぐ明るい社会づくり運動
- 18…… Palネット
- 20……全国清掃キャンペーン 明社人みんなでゴミ拾い2024（前期活動報告）
掲示板
耀！連隊 明社レンジャー

Contents

はーとふる2024年 秋号

【目次】



特集 提唱55周年記念特集 \ Part 2 /

全国各地から大集合！ みんなの力で紡ぐ 明るい社会づくり運動

「明るい社会づくり運動」は今年で提唱55周年を迎え、これまでさまざまな活動が展開されてきました。清掃、献血、講演会の開催、子どもたちを対象にした催しなど、地区明社のみなさまの地道な活動が継続されています。今号では、春号に続く提唱55周年記念特集第2弾として、全国のみなさまが現在取り組んでいる活動から、その一端をピックアップして紹介します。

高崎明るい社会づくりの会

「高崎スプリングフェスティバル」に参画

「高崎スプリングフェスティバル」でたこ焼き販売。収益は、活動費に充てています。



市民まつりの開催・参画

市民まつりへの参画

市民まつりは行政とのかかわりを築くことができる大切な行事の一つです。市民とふれあい、地域について学ぶ機会にもなります。

西東京明るい社会をつくる会

「西東京市民まつり」に参画

西東京いこいの森で開催された「西東京市民まつり」に出店し、「福島県いわき市を応援しよう!」とわかめ、とろろ昆布、海苔を取り寄せて販売しました。事前に3千枚のチラシを公園周辺で配布し、2日間で70キロの乾物を完売しました。収益の一部は、市内の児童養護施設と若者を支援するNPO法人に寄付します。



乙訓明るい社会づくり運動の会

「長岡京ガラシャ祭」に参画

京都の乙訓^{おとくに}明るい社会づくり運動の会は「長岡京ガラシャ祭」の会場でブースを設けて、パン販売とスーパーボールすくいを出店しました。「売上よりも乙訓明社の宣伝効果を」がモットー。会員の一人は、「皆さまに喜んで買っていただいたのが何よりです」と感想を話しました。



NPO 法人練馬明るい社会づくりの会 「練馬ファミリーまつり——みんなの笑顔 を、緑あふれる練馬から」を開催

NPO法人練馬明るい社会づくりの会は、心の通い合う、明るく温かいまちづくり・社会づくりをめざし、「チャリティープラザ」の名称で始まった区民まつりを、「練馬ファミリーまつり」に改め、2011年から毎年、開催しています。野外ステージ、ミニSL、少年野球教室、バザー、献血、緑化啓蒙、アイメイト歩行体験、模擬店など、まつりの内容は盛りだくさん。これらの収益は、ウクライナへの義援金、能登半島地震の復興義援金や緑化基金に寄付されています。



セミナー・ 講演会の 開催

テーマにそって専門家から学ぶ講演会や、講師と共に参加者も議論に加わるセミナーは、知識・技能を広げる場です。共に学び合いながら豊かな人生が育まれます。

千代田明るい社会づくりの会

第1部の総会に続き第2部で講演会を開催しています。一昨年は『大地震に備えて』をテーマに、東京・千代田区の災害危機管理課の職員が区内の避難所や帰宅困難者への対応、備蓄について講演しました。続いて、参加者たちは地震体験車で震度7の揺れを体験しました。また、今年も千代田区社会福祉協議会の職員から「エンディングノート」の書き方を学ぶ機会を提供しました。



明るい社会づくり高岡市民会議

さまざまな機会を通して講演会を開催しています。昨年は「100万人のゴミ拾い」の発起人・荒川祐二さんを招いて、中高生を対象に講演会を開催しました。今年も、「ポイ捨て禁止ポスター表彰式」で「PECとやま」の堺勇人さんが『クイズで楽しむSDGs』をテーマに講演し、国連の定めたSDGs（持続可能な開発目標）を楽しく学ぶ機会を設けました。



明るい社会づくり運動さぬき 「家庭教育講演会」の開催

毎年、開催してきた「家庭教育講演会」。コロナ禍では自粛していましたが、今年2月、4年ぶりに再開。実践例を通して幸せになる生き方を学び、「家庭教育は、生まれてから死ぬまでの人間教育」であることをかみしめました。

北区明るい社会づくりの会 雑学大学

毎月1回開催している雑学大学は、講師料、参加費、会場費が無料の講座です。しかも、講師は、「私、やります!」と手をあげた人が務めます。そのため講座の内容は、東京・北区の歴史や日中の友好、そして子育て、SDGs……と幅広く、老若男女を問わず大勢の人が参加しています。



中央区明るい社会づくりの会

講演会『発達障がい児のママのお話』

中央区明るい社会づくりの会は、京橋プラザ区民館ホール（東京・中央区）で『発達障がい児のママのお話』と題して講演会を開催しました。講師自身の体験をもとに福祉の問題などが取り上げられ、幅広い視点が示されました。



葛飾明るい社会づくりの会 「家庭教育講演会」の開催

「家庭教育講演会」を毎年、開催しています。コロナ禍で2年間の中断をしましたが、今年で33回目になりました。長年、葛飾区教育委員会、葛飾区社会福祉協議会、葛飾区立小・中学校のそれぞれのPTA連合会が後援しています。区内の全生徒にチラシを配布しており、多くの保護者が参加します。講演を聞いた保護者からは「本当によかった!」という声が多く聞かれ、次回の間い合せがあるなど広がりを見せています。



旭川地区協議会

「明るい社会づくり運動ファミリーコンサート」の開催

北海道の旭川地区協議会は、「明るい社会づくり運動ファミリーコンサート」を旭川市内の公会堂で開催しています。同協議会の仁木英雄氏がタクトを振る旭川交響吹奏楽団の演奏は、勇ましいマーチに始まり、一曲一曲と進むにつれ、演奏者と聴衆のつながりを感じさせてくれます。



西東京明るい社会をつくる会 デュオコンサートの開催

総会后、ピアノとヴァイオリンのデュオコンサートを開催し、一般の市民にも参加を呼びかけました。



コンサート・
演奏会の
開催

音楽を通して感動と幸せを提供します。市民のみなさんと共に豊かな時間を過ごします。

大阪平野地区協議会 【献血】

尊い命を救う献血活動を実施し、多くの方々にご協力をいただいています。



献血・ 募金活動

昭和52（1977）年の第1回明るい社会づくり運動全国推進大会で発表された運動方針の一つに「献血」がありました。献血も、募金も、道行く人に呼びかけながら、コツコツと積み重ねていく活動です。

北区明るい社会づくりの会 【募金】

北区明るい社会づくりの会は、「東日本大震災復興支援」「熊本地震の緊急支援」、そして「能登半島地震支援」の募金活動を行ってきました。募金活動には、東京・北区の少年野球2チームの子どもたちが応援にかけつけ、元気な声で募金を呼びかけてくれました。



宇城久 【共同募金活動】 明るい社会づくり運動の会

会員たちは京都の市街で募金を呼びかけました。短い時間で、それぞれのできることを自発的に取り組む活動となりました。



大阪府地区明社連絡会 【歳末助け合い募金】

各地区の実情に合わせて駅頭や商店街などで募金を実施しています。義援金は、社会福祉施設、社会福祉協議会、善意銀行、大阪府共同募金会、日本ユニセフ協会等に寄付しています。



明るい社会づくり運動福島県連絡協議会

福島県内の明るい社会づくり運動には11の地区協議会があり、それぞれが地元の新入学児童に黄色い帽子を贈呈してきました。毎年、多くの企業や個人などがこの取り組みに賛同し、募金に協力してくれています。地域に定着し、活動の輪が広がっています。



郡山地区の贈呈式。児童一人ひとりに帽子をかぶせる役員たち



新入学児童を交通事故から守るために、黄色い帽子を贈呈する取り組みを続けています。市民や企業などに寄付を呼び掛け、多くの協力を得て広がっています。



就学児童に黄色い帽子を贈呈する会津地区。市長室で

NPO 法人富士明るい社会づくりの会 世界の子ども支援事業 「富士山のふもとの小学校から世界の子ども たちへ黄色い帽子を贈ろう」

第1回の黄色い帽子寄贈（2019年、500個）に続き、第2回（2020年、320個）はNPO法人富士明るい社会づくりの会と富士宮明社が共催で実施しました。就学児童が使い終えた帽子のなかから品質良好なものを集め、名古屋市の「矢場とんカンボジア学校建設プロジェクト」を通して、カンボジアの小学生に寄贈しています。今後も継続して寄贈する予定です。

NPO 法人仙台明るい社会づくり運動 【フードパントリー】 「西多賀子ども食堂・フードパントリー」

毎月1回、子ども食堂を開く日に合わせて、高校生までのひとり親世帯に食材の支援を続けています。今年で5年目。企業からの寄付と行政からの助成金によって運営し、食材などの購入に充てています。



ここ数年の間に、日本全国で広がっている活動です。子ども食堂は当初、貧困家庭の子どもたち向けに始められましたが、今では、老若男女、みんなの居場所として利用されています。

中区明るい社会づくり運動 【こども食堂】 「うつくしの杜子ども食堂」

広島県の街で「うつくしの杜子ども食堂」に取り組んで10年。手探りのなかで始めた活動は多くの人から支持され、地域に定着しています。



NPO 法人上尾明るい社会づくり運動 【こども食堂】 「すまいる食堂」の運営

子どもたちが安心して過ごせて、気軽に立ち寄れる「子ども食堂」を埼玉・上尾市内の方々と一緒に作っていくことを目指しています。また、コミュニティづくりを目的としているため、食事の提供だけではなく、スタッフが子どもと遊んだり、勉強を教えたり、相談に乗ったりしている姿が見られます。



加須市明るい社会づくりの会 「ノーポイ運動」の実践

昭和49年に茨城県日立市内で空き缶回収を中心に環境美化が推進され、そのときに「ノーポイ」という言葉が生まれました。埼玉県明社も賛同し、県内一斉に「ノーポイ運動」を呼びかけると、全国にも広がっていきました。そして埼玉東部明るい社会づくりの会連絡協議会は、「環境美化、省エネ、資源保護、資源再利用の心を養うとともに独創性のある作品づくりを通して、青少年の健全育成を図る」ことを目的に「ノーポイ運動創作品展示会」を40回にわたって開催しました（平成27年に終了）。加須市明るい社会づくりの会は、その展示会の継続に向けて調整し、平成29年から「見捨てればゴミ、見直せば資源」をテーマに再スタートさせました。環境問題が大きな課題となっているいま、次代を担う子どもたちに物の大切さを伝えたいと願っています。



青少年が安全に暮らせる地域を築く活動です。そのため
の各種催しを継続してきたこと
で、行政や学校関係者との信
頼関係が生まれ、連携して行
事を実施している団体もあり
ます。



名古屋を明るくする会 実践体験文発表会

毎年、名古屋市立の小中学校の児童・生徒に思いやりの心で取り組んだ体験文を募集しています。名古屋市教育委員会、同市立小中学校校長、中日新聞社、三菱UFJ銀行、名古屋鉄道、CBCテレビ、東海テレビ放送、中部善意銀行が後援しています。毎年、700余通が寄せられ、その中から「優秀作品」「努力賞」を選出し、表彰しています。どの体験文も素晴らしい作品です。



明るい社会づくり高岡市民会議 「ポイ捨て禁止ポスター」の表彰

夏休みを利用して市内の中・高校生に「ポイ捨て禁止ポスター」を募集。19作品を表彰しました。



水戸ブロック明るい社会づくりの会 「明るい社会づくりポスターコンクール」実施

「水戸ブロック明るい社会づくりの会」が毎年開催している「明るい社会づくりポスターコンクール」では、水戸市、茨城町、城里町の1市2町の小学6年生を対象に、『思いやりの心を大切に』『命を大切に』『地球環境を大切に』の3テーマから描くポスターの募集をしています。毎年、1900点以上の応募の中から「金賞」「銀賞」「銅賞」「特別賞（金賞の中から選びます）」の約140点を選出し、表彰式を3月に行っています。

次代を担う児童が明るい未来を築く一助となることを願い、コンクールを継続し、今年で26回目になりました。



明るい社会づくり運動福島県連絡協議会 「明るい社会づくり作文コンクール」授賞式

福島県では毎年、「明るい社会づくり作文コンクール」を実施し、37回目となった今年も、県内の小・中学生から4900余の作品が寄せられました。入賞した児童・生徒の学校に賞状が送られ、学校ごとに授賞式が行われています。明るい社会づくり運動の事業として定着しています。



あわら市明るい社会づくり推進協議会

あわら温泉の玄関ともいえる金津インターから続く国道の1キロを清掃します。ペットボトル、缶、粗大ゴミなどが捨てられています。29年間、継続してきた清掃ですが、今後は「捨てない!」ことをアピールする運動を考えています。



清掃活動

現在、明るい社会づくり運動の多くの団体が清掃活動に取り組んでいます。法人明社は、毎年、「全国清掃キャンペーン 明社人みんなでゴミ拾い」を展開しています。

徳島明るい社会づくり運動

先輩たちが実施した活動を引き継ぎ、国道の清掃活動に取り組んでいます。



高萩明るい社会づくり運動協議会

毎年、高萩海岸の清掃を実施しています。



明るい社会づくり運動十日町・津南・南魚沼地区協議会

市内の清掃を行っています。

明るい社会づくり運動人吉・球磨協議会

人吉市内にある国宝「青井阿蘇神社」の境内周辺の清掃を行いました。



伊勢原市明るい社会づくり 推進協議会

「SDGs活動の日」に3年連続でエントリーし、神奈川県
伊勢原市総合運動公園・桜並木歩道の清掃活動を実施し
ました。「本当に良かったね」を合言葉に、次代を担う少
年少女やその家族のご参加を願い、取り組んでいます。



三重県明るい社会づくり協議会

ウミガメが産卵する場所としても知られる三重県
津市の海岸清掃を年1回、県明社の活動として実
施しています。



大阪府地区明社連絡会 「ダストバスターズ」に参加

日本三大祭りの一つである大阪の「天神祭」は、
さまざまな祭事や打上げ花火などがあり、国内外の
多くの人出でにぎわいます。祭りのあとにはゴミも多く、
大阪府地区明社連絡会所属の複数の地区明社は、
天神祭のボランティア「ダストバスターズ」に参加し
てゴミの分別収集をしています。



岩国ブロック明るい社会づくり 推進協議会

毎月第4日曜日の朝7時から市内4か所の清掃活動に取
り組んでいます。中心となっているのは壮年層の人たちで、
毎回15人ほどが参加者します。



明るい社会づくり運動知多 地区推進協議会武豊地域

年2回、地域の企業や団体に呼びかけ、富貴
ヨットハーバーの清掃活動を行っています。



〔花壇の整備〕

高萩明社



三重県安濃明社



〔一緑運動の支援〕

明るい社会づくり運動かながわ湘南

ケニアに苗木300本を寄付

「明るい社会づくり運動かながわ湘南」は、役員会で「一緑運動」の支援を決定し、ケニアに苗木を寄付しています。



福井市明るい社会づくり運動

未使用・書き損じはがきで「一緑運動」の支援

法人明社が推進する「一緑運動」(木を植える運動)の支援として、協力団体の玄関先にポストを置かせていただき、はがきの寄付を呼びかけています。12月から2月は、強化期間としています。その結果、毎年2000枚以上の未使用・書き損じはがきが寄せられています。



環境保全活動

環境問題が叫ばれる今日、植林や自然環境の保全がとて重要になっています。また、町をきれいにすることで犯罪が減ったという調査結果もあります。環境保全の活動に参加することは、自分の暮らす地域のことや、地球環境の問題を考えるきっかけになります。

〔植樹活動〕

明るい社会づくり運動筑浦協議会

筑波山の植樹に参加

明るい社会づくり運動筑浦協議会は、2006年に始まった「筑波山水源の森づくり」(主催：NPO法人地球の緑を育てる会/石村章子理事長)に毎年、参加しています。

「森づくり」の当日は、ミニ講座や植樹指導のあと、スダシイ、タブノキ、コナラなど10種類の苗木1000本を植樹します。筑波大学で学ぶ留学生や、土浦ライオンズクラブのメンバーなど、国や世代を超えて共に汗を流しています。



〔どんぐり拾い〕

明るい社会づくり運動 中和ブロック協議会

奈良公園一帯には、現在、約1200頭の鹿が生息しています。しかし、鹿をとりまく環境は快適なものとは言えず、餌不足から木の幹や草が食いざられる状況も起きています。そこで中和ブロック協議会は、人と鹿がよりよい関係で共生できるよう、適切な保護育成を進めていく一助として、鹿の好物であるどんぐりを拾い、それを一般社団法人奈良の鹿愛護会に寄託しています。



NPO法人練馬明るい社会づくりの会

リサイクルショップ「お宝市」

NPO練馬明るい社会づくりの会の事務所1階に開設しているリサイクルショップ「お宝市」。ほぼ毎日オープンし、リサイクル商品だけではなく、笑顔と温かいふれあいを来店者に提供しています。売り上げは、自然災害の復興支援金、練馬明社の活動資金に充てられています。



こんな活動も
あります！

リサイクルショップの運営、かるたの制作、「これからの明るい社会づくり運動」を考えるためのワーキンググループ結成など、さまざまな活動を展開しています。

高崎明るい社会づくりの会

「明るい社会づくりかるた」

群馬県は「かるた王国」といわれ、各市町村で独自のかるたを作っています。そこで高崎明社は、提唱者の「子どもたちをよい子に育てよう」という言葉を受けて、「明るい社会づくりかるた」を創作。前会長の新井三知夫さんを中心に子どもたちの健全育成を願って作りました。



明るい社会づくり 高岡市民会議

「海のプラスチックごみを減らし、きれいな海と生き物を守る」という目標を掲げて「富山県SDGs宣言」に参加しています。

西東京明るい社会をつくる会

「あいさつ運動」の実施

西東京明るい社会をつくる会の恒例行事「あいさつ運動」は、春・夏の年2回、実施されています。あいさつ運動PR用のポケットティッシュを道行く人に手渡ししながら、笑顔であいさつを交わします。



明社もりおか コロナ禍のマスクづくり

明社もりおかでは、元事務局長の清沢エ子さんをはじめ多くの方がマスクづくりに励みました。品薄の時には本当に助かりました。



東京明るい社会づくり運動区部協議会

「ワーキンググループ」の結成

地域や世代を超えて明るい社会づくり運動を推進していくため、東京明社区部協議会は昨秋、「今後の明社運動を考えるワーキンググループ」の結成を決定しました。その後、6人のメンバーがアンケートを作成し、都内の明るい社会づくり運動の団体に送付、回収。今秋、そのアンケートをまとめた報告集を発刊し、明社が抱える課題を具体的に考えることとなりました。

〔セミナー・講演会〕



〔機関誌・発刊物〕



〔子ども活動〕



〔「SDGs 活動の日」の実施〕

今年で3回目を迎えた「SDGs活動の日」。毎年1回、明るい社会づくり運動を推進している仲間とともに地域の清掃活動に取り組んでいます。参加者のなかで希望者には、「ボランティア証明書」を発行しています。



〔明社レンジャー〕



〔一緑運動——未使用ハガキの活用〕

全国のみなさまから寄せられた未使用・書き損じのハガキは、換金されてさまざまな活動を支える資金になっています。例えば、日本国際ボランティアセンター（JVC）が実施した「ラオスに井戸を贈る運動」もその一つです。このほか「ICAジャパン」が行っているアフリカ・ケニアの植林緑化活動や国内の植樹活動などがあげられます。



法人明社の 取り組み

全国の明るい社会づくり運動をつなぐ機関誌の発刊をはじめセミナー、講演会を開催しています。また、子どもを対象としたSDGsセミナーや清掃活動の実施、未使用・書き損じはがきの収集による国内外の植樹活動に取り組んでいます。